



決めたことをやりぬく



68-1

14

マルガレーテ・シュタイフ

― テディベアを作った人 ―

あきらめず、もくひょう目標をじつげんするには、
どんな考えがたいせつでしょう。

▼ 体の不自由ふじゆうなマルガレーテは、一生けん命どりよく努力して、
テディベアなどを作る世界初はつのぬいぐるみ会社を始

めました。

マルガレーテは、一才半のとき、高い熱^{ねつ}が出て、両足と右手が不自由^{ふじゆう}になりました。マルガレーテは、家族におんぶしてもらったり、かかえてもらったりしながら、毎日元気にすごしました。荷車に乗ってきょうだいや友達^{ともだち}に運んでもらい、学校にも行きました。

そのころは、体が不自由^{ふじゆう}な人たちは、特別^{とくべつ}なしせつや家で生活していたので、マルガレーテのように学校に通うことは

とてもめずらしいことでした。マルガレーテのお父さんとお
母^{かあ}さんは、しゅらこのことを考えて、しっかりと勉強して、



▲ マルガレーテ・シュタイフ
(1847～1909年)



はたら
働くことができるようにと考えたのでした。

一生けん命勉強したので、マルガレーテのせいせきはりっぱなものでした。とくに、算数がとくいでした。算数が苦手な友達ともだちのペーターには、よく算数の勉強を教えてあげました。「ありがとう。マルガレーテはすごいなあ。先生に教えてもらうより、ずっとわかりやすいよ。」

ペーターの言葉に、マルガレーテは、心の中が温かくなるのを感じました。

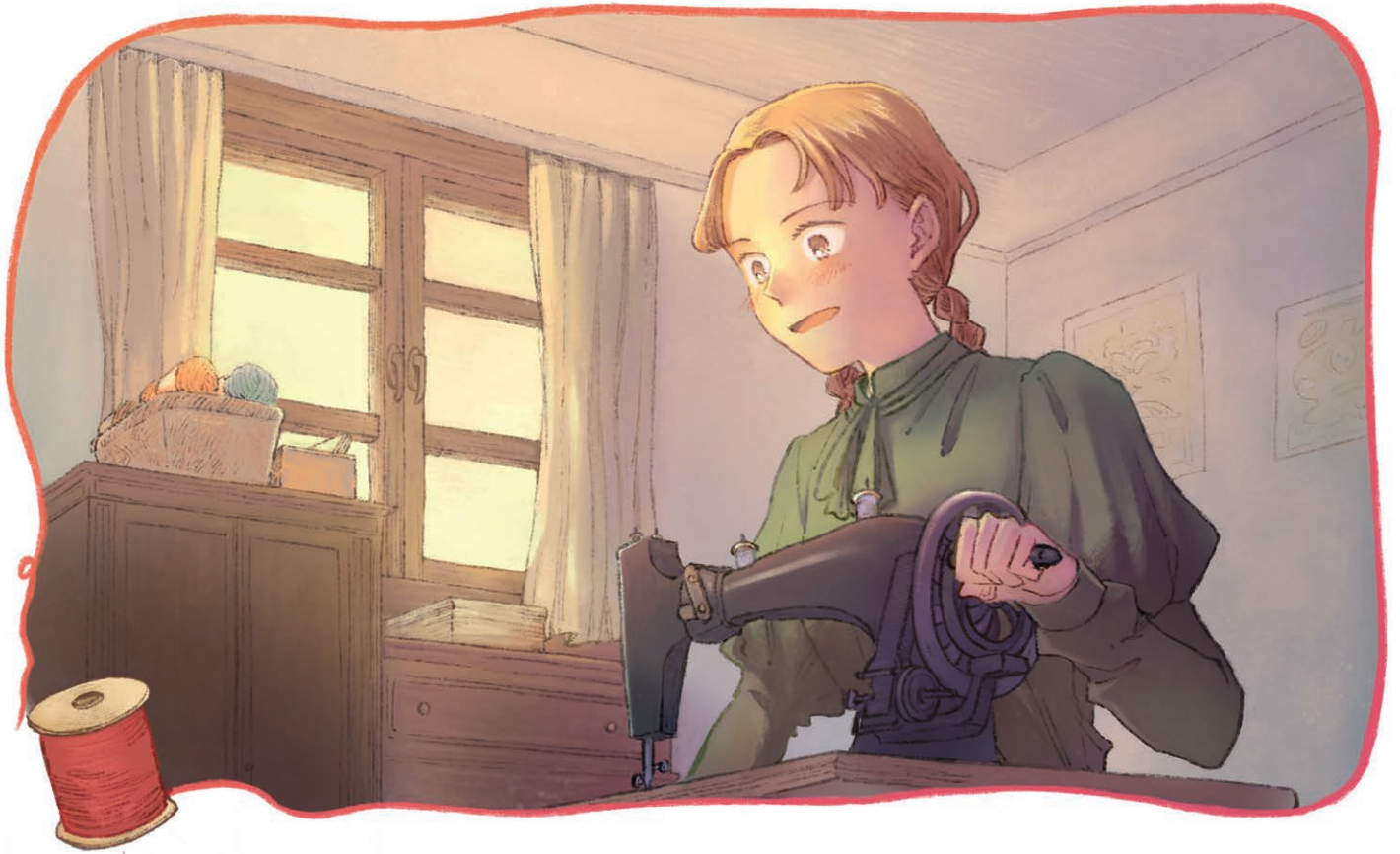
（……いつも助けられているばかりのわたしが、人の役に立つなんて……。）

マルガレーテは、大きくなると、二人のお姉さんねえとさいほうのお店を始めました。お姉さんたちと助け合いながら、自分たちにできる仕事は何でもしました。お客様によるこんでもらえることがとてもうれしかったのです。

「これからは新しいものにちょうせんしないとね。」

「ええ、服の流行だつて、どんどん変わるんだから。」

そんな話をしているとき、マルガレーテはミシンのいじく広告を



みつけました。それまでは、どんな服も、一はり^{ひと}一はり^{ひと}手でぬって
いました。

（ハンドルを回すだけなら、わたしにもできるかも……。）

そう考えたマルガレーテは、さっそく、お姉さん^{ねえ}たちと、高価^{こうか}なミシンを買いました。

ところが、ミシンのハンドルは右手で回さなくてはなりません。

マルガレーテはこまってしまいました。お客さんは注文してくれるのに、ミシンが使えず、なかなか仕事が進まないのです。そんななか、マルガレーテはミシンの反対側^{がわ}にすわれば、左手でミシンを回せるのではないかと思いつきました。何度も練習し、上手^{じょうず}にミシンが使えるようになると、お店はもつといそがしくなりました。そうして、たくさんの人をやとうまでになりました。

ある年のクリスマス、マルガレーテは、プレゼント用のカタログのぞうのいすを見て、思いつきました。

「かわいいぞうさんね。これを小さくして、材料をフェルトにしましょう。」

クリスマスプレゼントとして作られた八体のぞうは、大人気になりました。かたいブリキのおもちゃではなく、だ

きしめて遊んだり、いっしょにねむったりすることができ、初めての^{はじ}おもちゃでした。たくさんの人がほしがりました。ぶたや馬、くまのぬいぐるみも作りました。こうして世界初^{はつ}

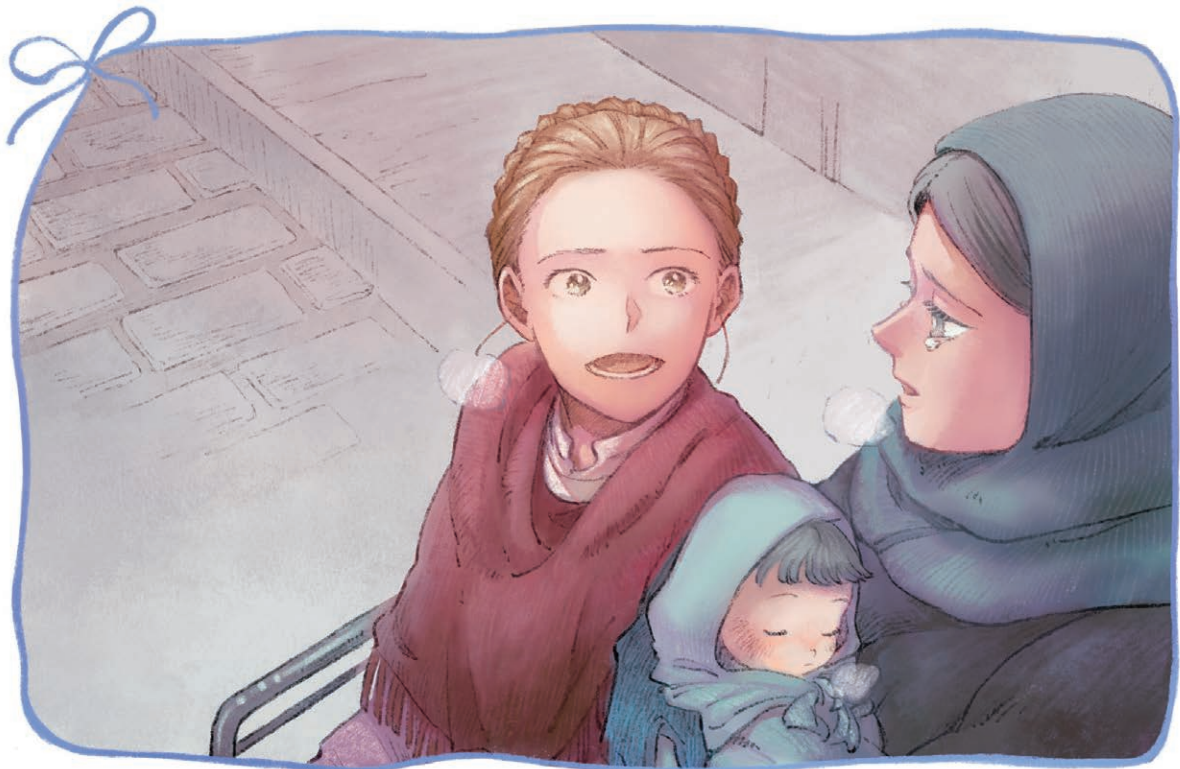


▲ マルガレーテが会社を始めるきっかけとなったフェルトで作ったゾウのぬいぐるみ

のぬいぐるみ会社がたんじょうした
のです。みなさんもよく知っている
テディベアは、この会社が初めて作っ
たものです。

会社の社長となったマルガレーテ
は、町で小学校のときの友達ニーナ
に出会いました。ニーナは小さな赤
ちゃんをだいて、暗い顔をしていま
した。

「夫がなくなつて、働かなくてはい



けないんだけど、子どもをあずけるところがなくて……。」

マルガレーテは自分も悲しくなりました。いつも、自分を

助けてくれた友達^{ともだち}が、今、こまっている……。マルガレーテ

は、あることを思いつきました。

「うちで働^{はたら}かない？ ちょうど、人をふやそうと思っていた

の。子どもは連^つれてきていいのよ。」

そう声をかけることができる自分を、マルガレーテはとてもうれしく思いました。

それから、マルガレーテは、会社を大きくするだけでなく、こまっている人や働^{はたら}いている人の力になるような取り組み



▲ テディベア

みをたくさんしました。すべての
人が働きやすく、また、子どもた
ちに最高のものをとどけられるよ
うにと、ずっと努力していきまし
た。マルガレーテの作り出したぬ
いぐるみは今でも世界中で愛され、
たいせつにされています。

● 作・へんしゅう委員会

● 絵・森川泉
もりかわ いずみ

考えてみよう

世界中の人に愛されるデイベアを作った
マルガレーテの生き方で、すてきだと思うのは
どこかな。



見つめよう・生かそう

あきらめず、目標をじつげんするには、
どんな考えがたいせつだろう。

